

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	地元を誇りに思い、人の流れを生むまちプロジェクト (観光・移住)		実施期間	H30年度～H34年度	テーマ	観光・移住	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>「人の流れ」を生むには、住民にとっては「住んでよし」、町外の人にとっては「訪れてよし」のまちづくりが必要。ここに住んでいるわたしたち自身が与謝野町ならではの魅力を知り、故郷に誇りを持つことが重要だが、日常に当たり前にあるモノやコトなどの魅力にはなかなか気が付かないものであり、まずはこの課題を解決する必要がある。</p> <p>また、地域に活力を与えている面白いヒト、地域資源を活かした面白いモノ、体験・体感を通じた面白いコトの創出やそれらの情報発信は、京都府北部5市2町の関係団体によって設立された海の京都DMOをはじめそれぞれの市町の観光協会を中心に推進されているが、こうした組織だけでは十分とは言えない。</p> <p>さらに、空き家バンクの運用や相談窓口の設置、地場産業と滞在を併せた「イン・レジデンス」などの移住施策も移住まで繋がっていない状況であり、地域交流や与謝野町ならではの魅力発信から、地域の良さを知ってもらい、他地域と差別化することが必要である。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>これまで培われた観光の基盤をもとに、「地元を誇りに思い、人の流れを生むまち」を目指し、各市町と連携し観光振興を図るとともに、空き家バンク運用、移住相談窓口の設置等連携して新たな活路を見出し、地域の魅力を高めるまちづくりを進める。</p>							
	総事業費（千円）	23,096	本年度事業費（千円）	23,096	交付金額（千円）	11,235		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	海の京都・美心与謝野事業 (観光施設整備・観光振興事業)	交付対象事業	町内5ヵ所の観光施設整備、町内4団体への助成			大内峠一字観公園、クアハウス岩滝、旧加悦町役場、阿蘇シーサイドパーク、道の駅の整備、滝の千年ツバキまつり、大内峠紅葉まつり等への助成		
	天橋立を世界遺産にする会事業	交付対象事業	天橋立世界遺産登録推進事業			天橋立を世界遺産にする会への負担金		
	クアハウス岩滝整備事業	関連事業	クアハウス岩滝整備事業			基本設計の実施		
	加悦奥川水辺公園整備事業	関連事業	加悦奥川水辺公園整備事業			照明設置工事		
住民協働事業	国際交流事業	交付対象事業	ウェールズアベリスツイスとの交流事業			ウェールズアベリスツイスへ高校生5名を派遣		
	海の京都DMO支援事業	関連事業	海の京都DMO支援事業			海の京都DMOへの負担金		
	美心与謝野魅力発信事業	関連事業	観光振興に資する事業への補助金			京都府北部地域連携都市圏振興社与謝野地域本部への補助金		
	お試し移住体験事業	関連事業	仕事と暮らしを短期体験するワーキングステイトライアルの実施			参加人数3人		
住民が取り組む事業								
成果指標①	成果指標の目標数値	観光入込客数 H29：459千人⇒H33：720千人		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	平成30年：430,427人/年			
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	山陰近畿自動車道の延伸により「通過する町」となりつつある。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-		(時期)	-	
成果指標②	成果指標の目標数値	観光消費額 H29：5.8億円⇒H33：10.5億円		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	平成30年：5.6億円/年			
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	観光入込客数の減少に伴い、連動して減少したため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-		(時期)	-	
成果指標③	成果指標の目標数値	アベリスツイスとの交流 高校生受入・派遣 毎年6人 H29：6人受入		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	平成30年度：5人			
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	引き続き相互派遣交流を行い、定期的な高校生派遣を推進していく。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-		(時期)	-	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	<p>観光分野においては、一定の効果はあったと考えられるが、山陰近畿自動車道の延長により都市部からのアクセスは向上したが通過の町となり観光入込客数、観光消費額は前年度を下回っている。</p> <p>国際交流分野においては、相互理解を深め国際感覚豊かな人材の育成を図るとともに両町民同士の交流を通じて「世界平和」に通じる国際理解の推進が図られ、グローバル人材の育成に寄与している。</p>							
※未達成の場合も効果を記載すること	<p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	交付対象事業で観光施設整備を行い、関連事業では地方創生推進交付金を活用し与謝野町の魅力発信やプロモーション事業等の取り組みを行ったことにより連携効果が生まれた。						
	府と市町村等との連携に資する成果	海の京都DMOと連携することで、広域的な観光振興が図られており、多様な方法で与謝野町の魅力や情報の発信に効果が生まれている。						
	住民の自治意識を高める成果							
	リーディング・モデル成果							
	広域的波及成果							
	行財政改革に資する成果	観光施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。						
	その他の成果							

(記載要領)

- プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは○、目標数値の近似値であるときは△、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。